

第4研究班 先進診断技術の開発と応用研究班

4-1 歯科疾患の遺伝子診断の開発と応用研究グループ

- 1) 植松晃樹,清水武彦,吉田明弘,朝田芳信,前田隆秀: マウス齲蝕発症に対する分子遺伝学的アプローチ, 第39回日本小児歯科学会, 2001.5.17-18, 大阪.
- 2) T.Uematsu, T.Shimizu, A.Yoshida, Y.Asada, T.Maeda: Molecular genetic study of dental caries susceptibility in inbred strains of mice, 第18回 I.A.P.D, 2001.9.12-15, Paris.
- 3) 成山明具美,清水邦彦,前田隆秀: う蝕発症に関与する遺伝子の解明—QTL解析を用いて—, 第40回日本小児歯科学会, 2002.6.6-7, 幕張.
- 4) 小宮城治,清水邦彦,前田隆秀: マウス SMXA Recombinant 近交系を用いた上顎骨近遠心方向の大きさを規定する遺伝子の QTL 解析, 第40回日本小児歯科学会総会, 2002.6.6-7, 千葉.
- 5) Han J, Shimizu T, Maeda T: The elucidation of causative genes to mouse cleft palate. -The genetic study of cleft palate induced cortisone in A strain mice-, China-Japan Medical Conference, 2002.11.3, Beijing, China.
- 6) 齊藤重野,平塚浩一,安孫子宜光: カフェインによるトロホブラスト BeWo 細胞における遺伝子発現変動の cDNA マイクロアレイ解析, 第44回日本歯科基礎医学会学術大会, 2002.10.4, 東京.
- 7) 平塚浩一,柴田恭子,岸川道子,安孫子宜光: *Porphyromonas gingivalis* 遺伝子発現マイクロアレイ—菌体増殖—, 第45回日本歯周病学会学術大会, 2002.10.25, 広島.
- 8) K.Hiratsuka, M.Kiyama-Kishikawa, Y.Shibata, S.Hamazima and Y.Abiko: Microarray Analysis of Virulence Gene Expression in *Porphyromonas gingivalis* during Cell Culture. I.A.D.R, 2003.6.23, Gothenburg, Sweden
- 9) 平塚浩一,岸川道子,柴田恭子,安孫子宜光: マイクロアレイを用いた *P. gingivalis* ヘミン制限下における遺伝子発現解析, 第47回日本歯周病学会春季学術大会, 2004.5.21, 鹿児島.
- 10) 清水邦彦,成山明具美,植松晃樹,前田隆秀: マウス MSM 系統を用いたう蝕感受性遺伝子の探索, 第40回日本小児歯科学会, 2002.6.6-7, 幕張.
- 11) 岸川道子,平塚浩一,浜島 進,安孫子宜光: 酸化ストレスによる *Porphyromonas gingivalis* ジンジパインの局在の変動, 第47回日本歯周病学会秋季学術大会, 2004.10.14, 仙台.
- 12) M.KIYAMA-KISHIKAWA, K.HIRATSUKA, S.HAMAJIMA, and Y.ABIKO: Oxidative effect on gingipains and fimbriae of *Porphyromonas gingivalis*, I.A.D.R., 2003.3.12, Honolulu.
- 13) 朝田芳信,前田隆秀: 齲蝕症に対する疾患モデルを用いた分子遺伝学的検討, 第18回日本疾患モデル学会総会, 2001.11.9-10, 名古屋.
- 14) H.Tsuda, K.Hiratsuka, Y.Abiko, M.Maeno and Y.Yamashita: Bacitracin-resistant mechanism of *Streptococcus mutans*; relation with MbrCD and MbrAB, I.A.D.R., 2005.3.14, Baltimoa.

4-2 生体機能からみた顎口腔機能の診断と応用研究グループ

- 15) USUI A, SAKAMOTO Y, YAMAGUCHI K, MAEDA T, AKITA K: Positional relationships between the original of insertions of the lateral pterygoid muscle, 4th Asian-pacific International Congress of Anatomists, 2005.9.8, Kusadasi-Turkey.
- 16) 静島昭夫,長岡朋人,平田和明,金澤英作: 鎌倉由比ガ浜から発掘された中世日本人上顎洞の古病理学的研究, 第59回日本人類学会, 2005.11.4, 横浜.
- 17) 鈴木浩司,川良美佐雄,浅野 隆: 背筋力発揮時の咀嚼筋筋活動について, 第12回日本スポーツ歯科医学会, 2001.6.24, 名古屋.
- 18) 鈴木浩司,川良美佐雄,浅野 隆,小見山道,河相安彦,矢崎貴啓,宗 邦雄,小林喜平: 背筋力発揮時における顎頭位変化および咀嚼筋筋活動様相について, 平成13年度日本補綴歯科学会東関東支部第5回学術大会, 2002.2.10, 水戸.

- 19) Iida T, Kawara M, Asano T, Fukumoto M, Murakami H, Kobayashi T, Komiyama O, Suzuki H: Masticatory muscle activity on snatch weight lifting, Masticatory muscle activity on snatch weight lifting 2005.3.12, Baltimore.
- 20) 齊藤孝親, 中山 均, 佐々木好幸, 鈴木一郎, 玉川裕夫, 成澤英明, 萩原芳幸, 日高理智, 森本徳明, 山田卓也, 西田 悟: ICD-DA 対応歯科標準病名マスターとその課題, 日本医療情報学会第7回春期学術大会(シンポジウム2003), 2003.6.13, 北九州.
- 21) 齊藤孝親, 中山 均, 佐々木好幸, 鈴木一郎, 玉川裕夫, 成澤英明, 萩原芳幸, 日高理智, 森本徳明, 山田卓也, 西田 悟: ICD-DA 対応歯科標準病名マスターの概要, 第4回日本医療情報学会学術大会, 2003.11.23, 千葉.
- 22) 齊藤孝親, 佐々木好幸, 玉川裕夫, 成澤英明, 森本徳明, 山田卓也: 電子カルテ用歯科標準病名とその活用について, 第20回日本歯科医学会総会, 2004.10.30, 横浜.
- 23) 齊藤孝親, 佐々木好幸, 鈴木一郎, 玉川裕夫, 成澤英明, 日高理智, 森本徳明, 山田卓也, 多貝浩行: 歯科標準病名について, 第5回日本医療情報学会学術大会, 2004.10.30, 横浜.
- 24) Ohkawa M, Yoshino S, Kitahara S, Sato S, Uchida T, Sasaharta H: A study of changes in the frequency distribution and duration of occlusal sound caused by initial preparation, 80th General Session of the Int Assoc Dental Res, 2002.3.8, San Diego.
- 25) 大川将彦, 吉野祥一, 佐藤 繁, 多田充裕, 齊藤孝親, 笹原廣重: 歯周疾患患者の初期治療前後の咬合音による機能的評価, 第15回日本口腔診断学会, 2002.5.17-18, 仙台.
- 26) 北原聡子, 伊藤孝訓, 青木伸一郎, 井出壺也, 須藤玲美, 笹原廣重: 歯科医師の診断思考プロセスに関する認知神経心理学的研究—脳波と眼球運動によるアプローチ—, 第15回日本口腔診断学会総会, 2002.5.18, 仙台.
- 27) 北原聡子, 伊藤孝訓, 青木伸一郎, 笹原廣重: 脳波と眼球運動による歯種鑑別の認知科学的研究, 日本補綴歯科学会東関東支部総会, 2003.2.9, 千葉.
- 28) 鈴木義孝, 伊藤孝訓, 青木伸一郎, 井田聡子, 木元美貴, 笹原廣重: 歯種鑑別時における情報処理プロセスに関する認知神経心理学的研究, 第2報, 標本照合における脳内テンプレート, 第17回日本口腔診断学会総会, 2004.5.15, 大阪.
- 29) 鈴木義孝, 伊藤孝訓, 青木伸一郎, 井田聡子, 大沢聖子, 笹原廣重: 歯種鑑別時のパターンマッチングに関する認知神経心理学的研究, 第4回日本大学口腔科学学会学術大会, 2004.9.5, 松戸.
- 30) 鈴木義孝, 青木伸一郎, 伊藤孝訓, 井田聡子, 長野裕行, 會田雅啓, 岩井益澄: 口腔内スクリーニング検査時における認知科学的検討, 日本補綴歯科学会東関東支部総会, 2005.3.20, 茨城.
- 31) 井田聡子, 青木伸一郎, 鈴木義孝, 小那木孝之, 梶本真澄, 齋藤隆彦, 伊藤孝訓: 直感的思考様式に関連した事象関連電位, 第18回日本口腔診断学会総会, 2005.5.14, 川越.
- 32) 鈴木義孝, 青木伸一郎, 伊藤孝訓, 井田聡子, 佐藤裕介, 酒井 淳, 長野裕行: 口腔診査時の診断思考プロセスに関する研究—スクリーニング探求課題の眼球停留電位による試み—, 第18回日本口腔診断学会総会, 2005.5.14, 川越.
- 33) 吉野祥一, 佐藤 繁, 内田貴之, 大沢聖子, 大川将彦, 大関一弥, 齊藤孝親, 笹原廣重: 関節円板転位が動的な咬合状態に及ぼす影響について—関節円板前方転位について—, 第2回日本大学口腔科学学会, 2002.9.1, 松戸.
- 34) 内田貴之, 大沢聖子, 梅田宜承, 大関一弥, 齊藤孝親, 笹原廣重: 顎関節症患者の保存的療法に関する研究—治療期間中のVAS値の変化について—, 第15回日本口腔診断学会総会, 2002.5.18, 仙台.
- 35) 青木伸一郎, 伊藤孝訓, 河相安彦, 長野裕行, 會田雅啓, 小林喜平, 笹原廣重: 咀嚼機能と性格特性に関する脳の事象関連電位による検討, 日本補綴歯科学学会学術大会, 2002.10.11, 名古屋.
- 36) 青木伸一郎, 伊藤孝訓, 河相安彦, 長野裕行, 會田雅啓, 小林喜平, 笹原廣重: 咀嚼機能と脳の認知機能に関する事象関連電位による検討, 第110回日本補綴歯科学学会学術大会, 2003.10.25, 長野.

- 37) 青木伸一郎, 伊藤孝訓, 鈴木義孝, 河相安彦, 長野裕行, 會田雅啓, 小林喜平, 笹原廣重: 咀嚼能力と健康関連 QOL に関する SF-36 による検討, 第 112 回日本補綴歯科学会学術大会, 2004.10.15, 横須賀.
- 38) 浅野 隆, 川良美佐雄, 鈴木浩司, 小見山 道, 福本雅彦, 小林 平, 和田守康, 牧村正治, 大竹繁雄: 背筋力発揮時における顎頭位変化および咀嚼筋筋活動様相について, 第 2 回日本大学口腔科学会学術大会, 2002.9.1, 松戸.
- 39) 浅野 隆, 川良美佐雄, 鈴木浩司, 小見山道, 小林 平, 福本雅彦: 筋力発揮時における咀嚼筋筋活動と顎頭位変化について—背筋力発揮時の場合—, 第 13 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2002.12.15, 大分.
- 40) Asano T, Kawara M, Komiyama O, Suzuki H, Fukumoto M, Kobayashi T, Iida T: Masticatory muscle activity during golf ball impact, The Third International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma, 2003,6,26-27, Kyoto.
- 41) Asano T, Kawara M, Komiyama O, Suzuki H, Fukumoto M, Kobayashi T, Iida T, Murakami H: Masticatory muscle activity on Swing and Impact in Golf, 82th International Association for Dental Research, 2004.3.12, Hawaii.
- 42) 浅野 隆, 川良美佐雄, 黒木俊一, 福本雅彦, 村上 洋, 小林平, 小見山道, 鈴木浩司, 河野千春, 飯田 崇: 体幹の伸展・屈曲運動時における咀嚼筋筋活動様相, 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 2005.5.14, 大阪.
- 43) 三好克実, 上江洲香実, 前田隆秀: 微細な顎運動の変位が検出可能な 3 次元表現, 第 2 回日本大学口腔科学会学術大会, 2002.9.1, 松戸.
- 44) 三好克実, 西村一美, 鶴山賢太郎, 諸星弘世, 宮本桃江, 上江洲香実, 前田隆秀: パンピングマニピュレーション前後の顎運動変化, 第 41 回日本小児歯科学会総会, 2003.5.30, 新潟.
- 45) 三好克実, 西村一美, 鬼頭依里, 松永理恵, 前田隆秀: 3 次元顎運動から求めた顎頭点と平均的顎頭点の位置的相違, 第 42 回日本小児歯科学会総会, 2004.05.21, 福岡.
- 46) 三好克実, 松根健介, 松永理恵, 前田隆秀: 外傷による下顎頭骨折患児の一例 (II 顎運動観察), 第 4 回日本外傷歯学会, 2004.11.21, 東京.
- 47) 三好克実, 松永理恵, 前田隆秀: 運動の中心軸と平均的顎頭点の 3 次元的位置関係, 第 43 回日本小児歯科学会総会, 2005.05.26, 仙台.

4-3 初期う蝕検出装置による診断法の開発研究グループ

- 48) 鈴木瑠美, 玉城民雄, 小林愛作, 田口千恵子, 後藤田宏也, 水野恭子, 小林清吾: 初期う蝕の臨床診断における DIAGNOdent の有用性について, 日本口腔衛生学会総会, 2001.9.30, 名古屋.
- 49) 山崎 優, 吉田明弘, 五島博恵, 片桐絵里奈, 新井陽子, 前田隆秀: 初期齲蝕の客観的判定と細菌叢との検討, 第 39 回日本小児歯科学会, 2001.5.17, 大阪.
- 50) 山崎 優: 幼若永久歯の初期齲蝕診断の検討—視診・触診と光学的ならびに細菌学的評価—, 第 19 回日本小児歯科学会関東地方会, 2004.10.3, 千葉.
- 51) 松永理恵, 清水邦彦, 小川 京, 新井陽子, 江口 徹, 羽瀨祥子, 前田隆秀: 各種濃度のフッ化物洗口による齲蝕抑制効果の検討, 第 43 回日本小児歯科学会大会, 2005.5.27, 仙台.
- 52) 松根健介, 梶山 紫, 臼井 朗, 荒井清司, 前田隆秀: 外傷により引き起こされた形態異常を呈した下顎左側中切歯の診断・治療に 3DX™ を用いた一例, 第 5 回日本外傷歯学会 (アジア外傷歯シンポジウム), 2005.9.18, 岡山.
- 53) 小松光一, 吉田浩輝, 根本君也: 光重合型コンポジットレジンの光学特性—その 2 フィラー粒径による影響—, 第 38 回日本歯科理工学会, 2001.10.19, 福岡.
- 54) 小川 京, 清水邦彦, 新井陽子, 松永理恵, 前田隆秀: 各種濃度のフッ化物洗口による齲蝕抑制の検討, 第 5 回日本大学口腔科学会学術大会, 2005.9.11, 松戸.

- 55) 松根健介,黒瀬絵里奈,五島博恵,山崎道子,早川 徹,根本君也,前田隆秀：フッ素徐放性レジン系シーラント材とガラスアイオノマー系シーラント材の牛歯エナメル質表面への接着強さの検討, 第41回日本小児歯科学会大会, 2003.5.29, 新潟.
- 56) 松根健介,前田隆秀,渋谷 功,根本君也：Nd-YAGレーザーによるう蝕部の選択的削除, 第118回日本歯科保存学会, 2003.6.5, 千葉.